

東京大学経済学図書館所蔵資料のデジタルデータについて

- (1) この画像データは、東京大学経済学図書館が所蔵する資料のうち、有価証券報告書をデジタル撮影したものです。
- (2) 利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化により、一部、文字の写りが悪いものを含んでいます。また、一部、オンライン公開に適さないと判断し、墨消処理した部分があります。
- (5) この画像データに関する質問等は東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。

連 結 財 務 諸 表

(昭和 55 年 7 月 30 日提出の
証券取引法第 24 条第 3 項に基づく報告書の添付書類)

連結会計年度 自 昭和 53 年 5 月 1 日
至 昭和 54 年 4 月 30 日
自 昭和 54 年 5 月 1 日
至 昭和 55 年 4 月 30 日

大 蔵 大 臣 殿

昭和 55 年 8 月 29 日提出

会 社 名 御 幸 毛 織 株



英 訳 名 MIYUKI KEORI CO., LTD.

代表者の役職氏名 取締役社長 本 田

孝



本店の所在の場所

名古屋市西区西志賀町 1916 番地

電 話 番 号

名古屋 531 - 1551 (代表)

連 絡 者

取締役経理部長 伊 藤 信 郎

連 絡 者

総 務 課 長 吉 村 肇

もよりの連絡場所 な し

- 1 当社の連結財務諸表は、「連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和51年大蔵省令第28号)に基づいて作成している。
- 2 当連結会計年度(昭和54年5月1日から昭和55年4月30日まで)の連結財務諸表については、証券取引法第193条の2の規定に基づき名古屋第一監査法人の監査を受け、次のとおり監査報告書を受領した。

監 査 報 告 書

御 幸 毛 織 株 式 会 社

取締役社長 本 田 孝 殿

作 成 年 月 日 昭 和 5 5 年 8 月 2 7 日

事 務 所 所 在 地 名 古 屋 市 中 村 区 名 駅 四 丁 目 6 番 1 8 号
名古屋ビル

監 査 法 人 の 名 称 名 古 屋 第 一 監 査 法 人

代表社員 公認会計士
関与社員

渡 辺 芳 明



代表社員 公認会計士
関与社員

田 中 稔 三



当監査法人は、証券取引法第193条の2に基づく監査証明を行なうため、以下に掲げられている御幸毛織株式会社の昭和54年5月1日から昭和55年4月30日までの連結会計年度の連結財務諸表、すなわち連結貸借対照表、連結損益計算書及び連結剰余金計算書について監査を行った。

この監査に当って、当監査法人は、一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠し、通常実施すべき監査手続を実施した。

監査の結果、連結財務諸表について会社の採用する会計処理の原則及び手続は、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠し、かつ、前連結会計年度と同一の基準に従って継続して適用されており、また、連結財務諸表の表示方法は「連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和51年大蔵省令第28号）の定めるところに準拠しているものと認められた。

よって、当監査法人は、上記の連結財務諸表が、御幸毛織株式会社及び連結子会社の昭和55年4月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する連結会計年度の経営成績を適正に表示しているものと認める。

会社と当監査法人または関与社員との間には、公認会計士法により記載すべき利害関係はない。

以 上

上記のとおり報告いたします。

連 結 貸 借 対 照 表

(単位 千円)

科 目	前 連 結 会 計 年 度 (昭和54年4月30日)		当 連 結 会 計 年 度 (昭和55年4月30日)	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
資 産 の 部		%		%
Ⅰ 流 動 資 産				
現金及び預金	5,093,217		5,199,565	
受取手形及び売掛金 ※1	5,852,208		5,660,868	
関連会社受取手形及び売掛金 ※1	846,075		678,586	
有 価 証 券	1,373,091		1,443,839	
た な 卸 資 産	3,541,987		4,241,465	
そ の 他	607,042		856,238	
貸 倒 引 当 金	△ 145,712		△ 183,500	
流動資産合計	17,167,908	63.8	17,397,061	63.1
Ⅱ 固 定 資 産				
1 有 形 固 定 資 産 ※2				
建物及び構築物	894,834		851,143	
機械及び装置	212,387		179,585	
土 地	539,461		539,461	
そ の 他	31,695		28,294	
有形固定資産合計	1,678,377	6.2	1,598,483	5.8
2 無 形 固 定 資 産				
施設利用権その他	4,023		7,365	
無形固定資産合計	4,023		7,365	
3 投資その他の資産				
投資有価証券	7,092,742		7,257,019	
非連結子会社及び関連会社株式	58,850		61,555	
長期貸付金	819,550		1,218,619	
そ の 他	112,926		52,099	
貸 倒 引 当 金	△ 13,023		△ 17,421	
投資その他の資産合計	8,071,045	30.0	8,571,871	31.1
固定資産合計	9,753,445	36.2	10,177,719	36.9
資 産 合 計	26,921,353	100	27,574,780	100

(単位 千円)

科 目	前 連 結 会 計 年 度 (昭和54年4月30日)		当 連 結 会 計 年 度 (昭和55年4月30日)	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
負 債 の 部		%		%
Ⅰ 流 動 負 債				
支払手形及び買掛金	46,067		35,533	
関連会社支払手形及び買掛金	29,169		12,651	
短期借入金	3,732,000		3,532,000	
貸与引当金	253,172		226,061	
事業税等引当金	260,564		224,588	
法人税等引当金	771,536		692,713	
その他の	640,893		583,171	
流動負債合計	5,733,401	21.3	5,306,717	19.2
Ⅱ 固 定 負 債				
従業員退職給与引当金	570,989		622,207	
役員退職引当金	180,640		205,640	
固定負債合計	751,629	2.8	827,847	3.0
Ⅲ 特 定 引 当 金				
価格変動準備金	130,376		108,326	
特定引当金合計	130,376	0.5	108,326	0.4
負債合計	6,615,406	24.6	6,242,890	22.6
資 本 の 部				
Ⅰ 資 本 金	1,815,000	6.7	1,815,000	6.6
Ⅱ 資 本 準 備 金	1,874,602	7.0	1,874,602	6.8
Ⅲ 利 益 準 備 金	453,750	1.7	453,750	1.6
Ⅳ その他の剰余金	16,162,595	60.0	17,188,538	62.4
資本合計	20,305,947	75.4	21,331,890	77.4
負債資本合計	26,921,353	100	27,574,780	100

注 記 事 項

前 連 結 会 計 年 度 (昭和54年4月30日)	当 連 結 会 計 年 度 (昭和55年4月30日)
※1 受取手形割引高及び裏書譲渡高 なし	※1 受取手形割引高及び裏書譲渡高 なし
※2 有形固定資産の減価償却引当金合計額 2,996,547 円	※2 有形固定資産の減価償却引当金合計額 3,088,296 円

連 結 損 益 計 算 書

(単位 千円)

科 目	前 連 結 会 計 年 度 (自 昭和53年5月1日) (至 昭和54年4月30日)			当 連 結 会 計 年 度 (自 昭和54年5月1日) (至 昭和55年4月30日)		
	金 額		百分比	金 額		百分比
I 売 上 高			%			%
製品及び商品売上高		10,594,995	100		9,838,961	100
II 売 上 原 価						
製品及び商品売上原価		5,720,479	54.0		5,464,374	55.5
売 上 総 利 益		4,874,516	46.0		4,374,587	44.5
III 販売費及び一般管理費						
販売費及び一般管理費 ※1		2,029,857	19.1		1,990,042	20.2
営 業 利 益		2,845,159	26.9		2,384,545	24.3
IV 営 業 外 収 益						
受 取 利 息	522,212			466,500		
有 価 証 券 利 息	203,069			380,262		
受 取 配 当 金	69,210			69,546		
そ の 他	100,085	894,526	8.4	20,608	936,916	9.5
V 営 業 外 費 用						
支 払 利 息	192,712			281,528		
従業員預り金利息	87,927			86,551		
たな卸資産評価減繰入額	0			69,500		
有価証券評価減繰入額	240,827			75,828		
そ の 他 ※2	8,202	479,668	4.5	6,968	419,875	4.3
経 常 利 益		3,260,017	30.8		2,901,586	29.5
VI 特 別 利 益						
事業税引当金戻入額	60,497			40,981		
地下鉄地上権補償金	0	60,497	0.5	20,721	61,702	0.6
税金等調整前当期純利益		3,320,514	31.3		2,963,288	30.1
VII 特定引当金戻入額						
価格変動準備金戻入額		10,736	0.1		22,050	0.2
税金等調整前当期利益		3,331,250	31.4		2,985,338	30.3
法人税等引当額 ※3		1,687,512	15.9		1,537,659	15.6
法人税等戻入額		141,011	1.3		116,464	1.2
当 期 利 益		1,784,749	16.8		1,564,143	15.9

注 記 事 項

前 連 結 会 計 年 度 (自 昭 和 53 年 5 月 1 日) (至 昭 和 54 年 4 月 30 日)	当 連 結 会 計 年 度 (自 昭 和 54 年 5 月 1 日) (至 昭 和 55 年 4 月 30 日)																												
※1 販売費及び一般管理費の内、販売費と一般管理費の割合は、およそ販売費が60%、一般管理費が40%である。 販売費及び一般管理費の主要な費目 <table> <tr> <td>広 告 宣 伝 費</td><td>348,652 冊</td></tr> <tr> <td>給 料</td><td>272,810</td></tr> <tr> <td>賞 与 手 当</td><td>217,914</td></tr> <tr> <td>退職給与引当金繰入額</td><td>74,470</td></tr> <tr> <td>事 業 税 引 当 額</td><td>483,666</td></tr> <tr> <td>減 価 償 却 費</td><td>86,498</td></tr> <tr> <td>貸倒引当金繰入額</td><td>49,881</td></tr> </table> ※2 営業外費用のその他には、貸倒引当金繰入額 1,121 冊が含まれている。 ※3 法人税等には、住民税が含まれている。	広 告 宣 伝 費	348,652 冊	給 料	272,810	賞 与 手 当	217,914	退職給与引当金繰入額	74,470	事 業 税 引 当 額	483,666	減 価 償 却 費	86,498	貸倒引当金繰入額	49,881	※1 販売費及び一般管理費の内、販売費と一般管理費の割合は、およそ販売費が60%、一般管理費が40%である。 販売費及び一般管理費の主要な費目 <table> <tr> <td>広 告 宣 伝 費</td><td>408,299 冊</td></tr> <tr> <td>給 料</td><td>281,522</td></tr> <tr> <td>賞 与 手 当</td><td>223,155</td></tr> <tr> <td>退職給与引当金繰入額</td><td>82,926</td></tr> <tr> <td>事 業 税 引 当 額</td><td>420,000</td></tr> <tr> <td>減 価 償 却 費</td><td>4,784</td></tr> <tr> <td>貸倒引当金繰入額</td><td>41,965</td></tr> </table> ※2 営業外費用のその他には、貸倒引当金繰入額 4,398 冊が含まれている。 ※3 法人税等には、住民税が含まれている。	広 告 宣 伝 費	408,299 冊	給 料	281,522	賞 与 手 当	223,155	退職給与引当金繰入額	82,926	事 業 税 引 当 額	420,000	減 価 償 却 費	4,784	貸倒引当金繰入額	41,965
広 告 宣 伝 費	348,652 冊																												
給 料	272,810																												
賞 与 手 当	217,914																												
退職給与引当金繰入額	74,470																												
事 業 税 引 当 額	483,666																												
減 価 償 却 費	86,498																												
貸倒引当金繰入額	49,881																												
広 告 宣 伝 費	408,299 冊																												
給 料	281,522																												
賞 与 手 当	223,155																												
退職給与引当金繰入額	82,926																												
事 業 税 引 当 額	420,000																												
減 価 償 却 費	4,784																												
貸倒引当金繰入額	41,965																												

連 結 剰 余 金 計 算 書

(単位 千円)

科 目	前 連 結 会 計 年 度 (自 昭和53年5月1日) (至 昭和54年4月30日)		当 連 結 会 計 年 度 (自 昭和54年5月1日) (至 昭和55年4月30日)	
	金 額		金 額	
I その他の剰余金期首残高		14,916,046		16,162,595
II その他の剰余金減少高				
配 当 金	508,200		508,200	
役 員 賞 与	80,000	538,200	30,000	538,200
III 当 期 利 益		1,784,749		1,564,143
IV その他の剰余金期末残高		16,162,595		17,188,538

連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

	前 連 結 会 計 年 度 (自 昭和53年5月 1日 至 昭和54年4月30日)	当 連 結 会 計 年 度 (自 昭和54年5月 1日 至 昭和55年4月30日)
1 連結の範囲に関する事項	当社の子会社はミユキ販売株式会社1社であり連結されている。	当社の子会社2社の内、ミユキ販売株式会社を連結の範囲に含めているが、MIYUKI PASTORAL CO. PTY LTDは、資産及び売上高が小規模で連結財務諸表に重要な影響を及ぼさないため連結から除外している。
2 持分法の適用に関する事項	「連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和51年大蔵省令第28号)附則2により、関連会社鷹岡株式会社1社に対する投資については、持分法を適用せず、原価法により評価している。	「連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和51年大蔵省令第28号)附則2により、非連結子会社MIYUKI PASTORAL CO. PTY LTD及び関連会社鷹岡株式会社に対する投資については持分法を適用せず、原価法により評価している。
3 連結子会社の事業年度等に関する事項	連結子会社ミユキ販売株式会社の決算日は5月31日である。連結財務諸表作成に当っては、連結決算日現在で実施した仮決算に基づく財務諸表を使用している。	同 左
4 会計処理基準に関する事項		
(イ) 重要な資産の評価基準		
有価証券	移動平均原価法による低価法	同 左
たな卸資産	主として総平均原価法による低価法	同 左
(ロ) 減価償却の方法		
有形固定資産	定 率 法	同 左
無形固定資産	定 額 法	同 左
(ハ) 引当金の計上基準		
貸倒引当金	法人税法第52条の規定に基づいて計上している。	法人税法第52条の規定(法定繰入率)に基づく額及び期末個別債権に対し必要な額を計上している。
事業税等引当金	地方税法の規定に基づいて計上している。	同 左
賞与引当金	当社は発生基準により支給予想額を計上しているが、連結子会社は、現金基準を採用している。	同 左
従業員退職給与引当金	当社は会社計算により期末要支給額の100%を設定しているが、連結子会社は税法の規定により期末要支給額の50%を設定している。	当社は会社計算により期末要支給額の100%を設定しているが、連結子会社は税法の規定により期末要支給額の40%(経過措置適用)を設定している。
役員退職引当金	当社は内規による期末要支給額の100%を設定しているが、連結子会社は引当を行っていない。	同 左
(ニ) そ の 他		
法人税等引当額	法人税及び住民税の納税見込額を計上している。	同 左
5 投資勘定と資本勘定との相殺消去に関する事項	親会社投資勘定と連結子会社資本勘定との相殺消去は、取得日を基準とする段階法による。	同 左
6 未実現利益の消去に関する事項	連結会社間の資産の売買に伴う未実現利益は、全額消去した。(連結子会社には少数株主は存在せず、また減価償却資産の売買はない。)	同 左
7 在外連結子会社等の財務諸表項目の換算に関する事項	該当する事項はない。	同 左
8 利益処分項目等の取扱いに関する事項	連結剰余金計算書は連結会社の利益処分について、連結会計年度中に確定した利益処分に基づいて作成されている。	同 左
9 法人税等の期間配分の処理に関する事項	税効果会計は適用していない。	同 左